

発言No. 6

受付No. 3

平成 26年 8月 25日
12時 26分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 4番

氏名 申崎 利行

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育委員会委員長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

- ① 日本の食料自給率は39%で、先進国で最低の水準であり、TPP交渉で大幅な関税引き下げを受入れることになれば、自給率がさらに低下することも予想される。今年国が、新たな農業・農村政策として4つの改革をされたが、中山間地にはマッチしていると言えないと感じている。自給率を上げる事は大変重要であるが、市の考えを伺う。
- ② 10年先を見越して儲かる農業を目指す中で、特に若者を多く雇用出来る為の、施策について、市の考えを伺う。
- ③ 農地・農業用施設等災害復旧事業の中の、農業用施設「用・排水路、農業用道路等」は、受益戸数2戸以上、また、農地等では、1箇所40万円以上が対象になっている。対象外について市としての考えを伺う。

2 市民、地域との連携強化について

- ① 地域まちづくり推進委員会の未設置の状況等は、3月議会で同僚議員から質問があり、浜田市内は公民館単位では難しく、小学校単位等で見直し検討すると答弁されたが、その後の状況について伺う。
- ② 地域と市職員との交流は、^{その地域に任ずる}次代を担う後継者の育成と言う観点からも、大変重要な取り組みであると思うが、少し意欲がうすい様にも感じられるが、市の考えを伺う。
- ③ 若い人が参加しやすい、イベント・パーティー・交流会への参加などを援助し、

元気な浜田に向けての、取組みを強化して頂きたいと思う。また、若者が、自分たちが生まれ育った地で仕事がしたいと思える、浜田市である為に、今何が求められているか、市の考えを伺う。

3 浜田市ごみ収集計画について

- ① 現在、ペット・プラ収集は、浜田市・三隅町では毎週で月4回あるが、金城町・旭町・弥栄町では月2回の収集になっている。特に最近の水も、ペットボトルで購入する時代で、ペットボトルが増加傾向にあると感じている。住民平等性の面から考えても、月4回で統一するべきと思うが、市の考えを伺う。

4 支所体制について

- ① 今後支所は、平均20人体制で行政サービスを維持していくと自治区制度公聴会で話されている。住民の声は現在でも、窓口をたずねても、担当職員が外出中であつたり、代休をとっていたりで、担当者がいないために、適切な回答が得られないと苦情を聞いている。支所機能は上手くいっているのか、市の考えを伺う。